

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

会 長

署名委員

署名委員

## 第3回 上富良野町国民健康保険運営協議会議事録

- 1 日 時 自 平成 22 年 12 月 1 日 19 時 00 分  
至 平成 22 年 12 月 1 日 20 時 30 分

- 2 場 所 上富良野町役場 審議室

- 3 出席者

公 益 代 表 北川 昭雄・大柳 房子

保険医・薬剤師代表 渋江 久・矢花 修・石澤 美穂

被 保 険 者 代 表 杉本 隆一・鎌田 孝徳・小松 紀代美

(欠席委員 五十嵐 順美)

事 務 局 副町長・町民生活課長・健康づくり担当課長・総合窓口班主幹

及川主査・末永主査・村上主任

- 4 付議議題

- 平成 22 年度国民健康保険特別会計補正予算について

副町長挨拶	
副町長	<p>日頃より国保事業の運営に際しご理解・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。国保の事業運営については年度当初より申し上げているとおり、基金が底を尽き医療費動向についても毎年上昇傾向で推移しており、いよいよ懸案事項であった税率改正の議論を本格化させざるを得ない状況を迎えると予測される。厳しい経済状況下で皆さんに更なる負担を願う面では大きな課題を残しているが、今後検討を重ねていきたい。</p>
会長挨拶	
会長	<p>12月定例議会に補正予算案を上程する予定であり、この内容について答申するというので本日お集まりいただいた。報告事項並びに諮問事項について皆さんのご協力を賜りながら審議していきたい。副町長から話のあった保険料の件についてはいずれ、改定する方向で話を進めていくこととなろうかと思う。充分ご了承承願いたい。</p> <p>今回の運営協議会議事録署名委員について事務局案は。</p>
町民生活課長	杉本委員・鎌田委員にお願いしたいと思います。
会長	今回の運営委員会の議事録署名委員は杉本委員・鎌田委員にお願いします。
1 報告事項	
(1) 平成22年度国民健康保険税の状況について	
及川主査	<p>議案P1により説明。</p> <p>10月31日現在の国保税調定額は2億9,640万円で、前年同期と比較すると今年度は120万円程度の減となっているが、季節雇用者の国保加入が冬場に集中する例年の動向を加味すると最終的には3億円程の調定が見込まれるところである。</p> <p>また、納付書払から口座振替払への移行が進んだこともあって現年課税分・滞納繰越分共に前年対比で2%程上昇した。あわせて本年度から、非自発的失業者に対する国保税の軽減対策が4月から制度化されたが、これまでに25件の申請があり、保険税軽減の適用を受けている。</p>
会長	何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)

(2) 平成22年度国民健康保険給付状況について	
及川主査	議案P2～6により説明。
	資料は平成22年度の上半期経過時点の状況である。年間平均被保険者数は前年を約100名下回り、受診件数も対象者減によって抑制されているが、保険者負担額は3.2パーセント、一人当たり保険給付費では6.29パーセント増加しており、1件あたりに要する費用額が増嵩している傾向にある。一般被保険者のうち70歳以上の高齢者に係る今年度の給付は、昨年同期のすべての月を上回って推移しており、全体の医療費を底上げる要因のひとつと考えられる。加えて、9月診療に係る療養給付費の速報値を見ると8月診療を大きく上回り、過去3年の同期比較において最も高額な給付となっている。
会 長	給付増となった要因は。
及川主査	統計をみると、3万点超のレセプトが昨年と対比すると1割強増えており、中でも循環器科、消化器科、神経内科の高額レセプトが散見されている状況です。
渋江委員	診療所レベルでは、3万点を超える治療自体がまず無いと思います。また、ジェネリック医薬品などは薬価が低いので利益が伴わないが、薬価を下げない製薬会社は淘汰されてしまうので、利益を得るために新薬を開発しているような話も聞きます。
健康づくり担当課長	以前散見された、脳疾患などの大口レセプトは件数が抑えられていますが、消化器疾患などの件数増加がみられるので、今後は特定健診と併せ、これらの検診受診率を上げる働きかけを行わなければ、総体の医療費抑制に繋がらないと考えています。
石澤委員	国保被保険者の方が「ジェネリック医薬品希望カード」を持っているのをよく見かけます。公費負担医療を受けている方は自己負担がない分、本人への影響も微小と思いますが、取扱に悩むところもあって国保と同様なのかを教えてください。
及川主査	保険者としては昨年来、医療費適正化の観点からジェネリック医薬品普及推進の取り組みを行ってきており全被保険者に対してリーフレット並びに「ジェネリック医薬品希望カード」を送付しているところでありますが、周知することでジェネリックへの変更を無理強いするものではなく、あくまで個人の意思に委ねるものと考えており公費負担医療についても同様の考え方だと思います。
渋江委員	給付の状況には、介護に係る費用も含まれているのですか。

及川主査	介護給付費は別勘定となっており、含まれていません。
会 長	ほかに何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)
(3) その他	
健康づくり担当課長	別添資料により特定健診・保健指導の状況について説明。
	過日、平成20年度における特定健診・保健指導の目標達成状況が明らかになり、上富良野町が参酌標準を達成したことが国保新聞上に掲載された。本町はかつて全国3,000保険者のうち、下位150位にランクしており、国から「高医療費指定市町村」の指定を受け安定化計画を策定、長期にわたり保健事業に取り組んできた歴史がある。
	本件については11月29日に国保新聞記者が来町し、取材に答えたことを報告。
	健診結果に基づくデータは国が全てデータ管理を行っており、近年の傾向では、治療を受けるべき状態にあるが治療を受けていない人の割合が年に数パーセントずつ減少しており、国から数値の改善がみられるとの講評を得たところである。
	22年度は健診受診率目標値を独自に74パーセントと高めに設定しているが、目標値には現在のところ到達していない。また今年度の健診日程も全て終了してしまったが、各医療機関から健診データ提供の協力をいただくことで目標値に近づけていきたい。
会 長	健診については非常に優秀な結果ですね。動機づけ支援とはどのような内容ですか。
健康づくり担当課長	動機づけは健診結果について1対1で30分間説明するポイント制になっています。6ヶ月後にその結果について評価を行うことが最低限の基準となっており、その間、対象者は食生活や生活習慣の改善に重点を置くということになります。
会 長	積極的支援についてはどうなっていますか。
健康づくり担当課長	動機づけ支援は2回の面談ですが、積極的支援の対象となった方とは3回面談する機会を設けることとなります。
会 長	他に意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)
2 諮問事項	

(1) 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算について	
及川主査	議案P7～13により説明。 主な補正予算内容については、事業確定に伴う交付金・拠出金関係の整理、保険給付費の不足による増額補正、国保連合会次期電算システム導入に伴う機器整備経費の予算化によるもの。なお、歳出増額分と歳入財源分相殺後の差額23,095千円については予備費の一部を充当することで対応する。
会 長	事務局から提案のあった事項に対し、何か質問・意見等ありませんか。
各委員	(特に意見なし)
会 長	特になければ、諮問事項については事務局案が適当と認め議会上程することよろしいか。
各委員	(賛成多数、承認)
3 その他	
及川主査	別添資料により「北海道国民健康保険広域化等支援方針」素案の概要について説明。 国においては、平成24年度の後期高齢者医療制度廃止の方針、また市町村国保を含めた地域保険の都道府県を単位とする一本化を掲げ検討を始めている。 国保事業の広域化に向けては各都道府県が中心となって主体的に環境整備が図られるよう国民健康保険法の改定が行われ、今般、道において当該支援方針の素案が策定され、道内各保険者間の地域格差解消に向け、収納率平準化・収納率95パーセント達成を具体的目標として掲げている。
会 長	相関図をみると、それぞれの地域によって医療費・保険料の格差があるが、とりわけ旧炭産地は地域性の問題なのか高齢化が顕著で高医療費の傾向が強いですね。 全体を通して何かありませんか。
鎌田委員	上富良野町は特定健診で素晴らしい成績を残していますが、成績の上がない他市町村との根本的な違いは何ですか。
健康づくり担当課長	おそらく他市町村の健診結果は単年度分を対象者に提供して終わりなのだと思いますが、上富良野町は過去からの連続したデータを一覧で提供していることから、住民の方々は自らの健診データの推移を読めるようになっています。このことが自発的な健診の受診に繋がっていると思います。
会 長	以上、報告案件、諮問事項がありましたが、他に何もなければこれで本日の運営協

議事を終わりたいと思います。